

坂西梓里、新田梢（フィールド科学研究室）、片平浩孝（環境生物学研究室）

研究の背景

私たちの身近な環境に生息し、知名度の高いダンゴムシですが、都市域にも複数種が生息していることはあまり認識されていません。私たちが普段よく目にするオカダンゴムシは、明治期にヨーロッパから入ってきた外来種で日本全国に分布を広げています。一方、コシビロダンゴムシ科は在来種で、特に都市部では生息できる環境が限られています。そこで、本プロジェクトでは、都市域におけるダンゴムシ、特に在来ダンゴムシの生息状況を調査するとともに、各調査地の個体群について遺伝子解析を行い、その遺伝的多様性について評価します。



アプローチ

神奈川県内・東京都内の公園を対象に、在来・外来ダンゴムシの生息状況について、見つけ取り法（調査区内を歩きながら、生息するダンゴムシを目視により確認、採集する方法）により調査を行います。また、各調査地の個体群について、遺伝子解析を行い、集団内および集団間での遺伝的変異の大きさや違いを評価します。



神奈川県立都市公園（神奈川県公園協会HPより）

期待される結果

- ◆ コシビロダンゴムシについては、神奈川県内では横浜市の8か所、相模原市の2か所で生息が確認されているだけで、その分布状況についての研究はほとんどありません。本調査で新たな記録を報告することができるかと期待されます。
- ◆ ダンゴムシは移動性が低いことから、同じ種であっても地理的に隔離された個体群間で異なる遺伝子を持っている可能性があります。地域個体群間の遺伝的多様性を明らかにすることは、遺伝子レベルの多様性保全につながるかと期待されます。
- ◆ ダンゴムシ類は環境によって見つかる種類が異なり、コシビロダンゴムシは森林性です。コシビロダンゴムシの生息が確認できれば、その場所は一定規模の安定した自然環境であることを示しており、公園の自然度評価の一助にもなります。

募集方法

3名程度を募集します。ホームページでの募集のほか、前期期間中にプロジェクトの説明会を行います（説明会にどうしても参加できない場合は、個別で説明の機会を設けます）。また、随時質問等を受け付けます。